

教育ファーム推進方策で示された課題への対応に向けた工程表(平成23年度～平成27年度)

九州農政局

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1. 指導者や体験の場の確保への対応										
①市町村単位または校区単位等の地域における、地域の関係者の協議の場の設置		協議会の場等を立ち上げている市町村の事例を収集 ⇔	収集した事例を参考に、市町村に対し農林漁業体験活動に係る協議の場の設置を働きかける ⇔							
②実践者と農林漁業者等との間を仲介する組織の設置		取組実践者と農林漁業者の間の仲介組織の情報について収集し随時九州農政局HP(食育のひろば)で紹介 ⇔		収集した事例をもとに、仲介組織が設置されていない市町村に対し仲介組織の設置を働きかける ⇔						
③農林漁業体験を含めた食育における幼・保・小・中・高・大の連携を地域で進める		農林漁業体験における幼・保・小・中・高・大の連携による取組の事例を収集 ⇔		収集した農林漁業体験における幼・保・小・中・高・大の連携による取組の事例をもとに自治体・学校等に紹介し連携を働きかける ⇔						
2. 取組方法に対する知識・経験不足への対応										
①農林漁業の現場体験を含めた研修が必要		農林漁業の現場体験を含めた教育研修の機会についての情報を農政局で収集 ⇔		農政局HPに収集した教育研修の機会についての情報を教師等に紹介するコーナーを設置 ⇔						
②教育ファームに取り組んでいる方々の取組についての情報の共有化を図るための交流の場の設置		九州農政局及び各地域センターにおいて、食育アイランド九州交流会分科会(農林漁業体験活動)を開催し教育ファームに取り組んでいる方々の取組について、取組実践者同士の情報交換・共有化を図る ⇔								

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
③実践者にとっての取組を行う上で使い易い教材が必要		農政局HP(食育のひろば)において、既存の教育ファームに関する教材を紹介し、それを農政局や地域センターから貸与することについて紹介 ←→			新たな教材の作成に向けた情報収集 ←→					
					教材の作成 ←→					
④農業大学校が行う一般市民を対象とした農業体験活動の取組への農業大学校生徒のスタッフ参加 栄養士や教師を目指す学生の様々な農林漁業体験活動へのスタッフ参加		農業大学校が行う一般市民を対象とした農業体験活動の取組に農業大学校生徒がスタッフとして参加している事例を収集し、農政局HPで紹介 ←→			栄養士や教師を目指す学生が様々な農林漁業体験活動にスタッフとして参加している事例を収集し、農政局HPで紹介 ←→					
3. 取組における運営上の問題点への対応										
①運営上の問題解決方法を取りあげた、優良事例集や実践マニュアル等の作成・普及		農政局HP(食育のひろば)において、教育ファームに関する優良事例集や実践マニュアルを紹介し、それを農政局や地域センターから貸与することについて紹介 ←→			運営上の問題解決の方法を取り上げた優良事例についての情報を収集し農政局HPで紹介 ←→					
②実践者間で課題を解決する方法についての情報共有するための交流の場の設置					九州農政局及び各地域センターにおいて、食育アイランド九州交流会分科会(農林漁業体験活動)を開催し、課題解決の方法について、取組実践者同士の情報交換・共有化を図る ←→					
4. 教育ファームの実施が難しい都市部への対応										
①都市農村交流の受入地域についての情報の都市部の学校への提供					都市農村交流に関する受入地域等の情報を収集し学校へ提供 ←→					
②都市農村交流の取組効果や実際の取組事例等の学校への情報提供					都市農村交流の取組効果や実際の取組事例等についての情報を収集 ←→	収集した都市農村交流の取組効果や実際の取組事例を農政局HPで紹介 ←→				

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
③取組実践者間の取り組むうえでの問題点への対応方法等について情報共有の仕組みが必要		九州農政局及び各地域センターにおいて、食育アイランド九州交流会分科会(農林漁業体験活動)を開催し取り組むうえでの問題点への対応方法について、取組実践者同士の情報交換・共有化を図る									
④都市農村交流と学校内での栽培体験等を組み合わせた取組により教育ファームの効果を上げる		都市農村交流と学校内での栽培体験等を組み合わせた取組により教育ファームの効果を上げている事例を収集し、農政局HPで紹介									
5. 教育ファームの効果等について普及の必要性											
①取組を行う人の生の声や取組の現場を見てもらうことにより実感を伴うPRの実施		九州農政局HP「食育のひろば」のイベント情報の中に農林漁業体験の参加機会についての情報を集積したコーナーを整備し情報を提供									
		ホームページ以外のメディアによる情報提供についても検討・実施									
②地域の協力を求めていくうえで、取組実践者が教育ファームの効果について実践者間の情報の交換・共有化を図る必要がある		九州農政局及び各地域センターにおいて、食育アイランド九州交流会分科会(農林漁業体験活動)を開催し教育ファームの効果等について取組実践者同士の情報交換・共有化を図る									
6. 取組に対する参加者確保への対応											
①教育ファームの参加機会についての情報を集積したHPの設置		九州農政局HP「食育のひろば」のイベント情報の中に農林漁業体験の参加機会についての情報を集積したコーナーを整備し情報を提供									
		「食育のひろば」での農林漁業体験活動の紹介を増やすために農林漁業体験活動の取組団体に食育アイランド九州への登録を働きかける									
②グリーンツーリズム等都市農村交流の取組と連携したメニューの開発とPR		グリーンツーリズム等の都市農村交流の取組と教育ファームの取組を連携して取り組んでいる事例を収集		収集した事例を自治体や学校へ情報提供するとともに、農政局HPで紹介							
7. 消費者ニーズへの対応											
取組実践者間で参加者・消費者のニーズへの対応方法等について、情報の共有化を図るための交流の場の設置		九州農政局及び各地域センターにおいて、食育アイランド九州交流会分科会(農林漁業体験活動)を開催し消費者等のニーズへの対応方法等について、取組実践者同士の情報交換・共有化を図る									